

Engl Savage 120

プラグインマニュアル



Developed by Brainworx in partnership with Engl Limited and
Distributed by Universal Audio.



brainworx 



ザ・レジェンド

良く知られているEnglヘッドの1つであるSavage 120は、独特なサウンドでモダンなロックミュージックの新しいスタンダードを確立しています。高速レスポンスとアタックに加え、パンチのあるヘッドルームとダイナミクスがこのアンプのトレードマークです。Savage 120は、4種類のベーシックなサウンドを持つチャンネルと多くの便利な機能を搭載し、モダンなロックリグの中心として理想的なチョイスになります。

アンプは、4チャンネル(クリーン、クランチ1、クランチ2、リード)、2基のEQ、センシティビティスイッチ、ブライトスイッチ、リードブースト、コンタースイッチ、ラフ/スムーズスイッチに加え、ハイバランスコントロール、5 x ECC 83プリアンプチューブを装備しています。

マスターセクション: プレゼンスA/B、マスターA/B、デプスブースト、120ワット(1 x ECC 83、2 x 6550パワーアンプチューブ)

クリーンで粒立ちの良いサウンドが特徴のSavage 120は、メタル界の定番ギターアンプになっており、BrainworxオーナーのDirk Ulrichのお気に入りにもなっています。ギターサウンドのキャラクターを細かくカスタマイズできるようにするいくつかのシェーピングスイッチとともにクリーン、そしてオーバードライブされた4種類のトーンを提供します。これはシャープでパンチのあるリード、深みのあるオーバードライブトーンでもっともよく知られています。





明確なハードウェアモデルの評判に沿って、Brainworxは、コンポーネントレベルでのモデリングを行い、ハードウェアアンプをソフトウェアで再現し、ノイズゲート、Lo-Fiディレイ、フィルター、内蔵パワーソークのようなオンボードエフェクトを擁するフラッグシップFXラックを加えています。FXラックでもっとも注目すべき機能は、スピーカーキャビネットレコーディングチェーンの選択でしょう。このBrainworxアンプに標準搭載の機能は、ブティックキャビネット、マイク、エフェクトの様々な組み合わせを選択してアンプを使用してキャプチャーされたインパルスレスポンスを含んでいます。オンボードには、100種類のIR（インパルスレスポンス）が用意されており、あらゆる種類のサウンドに対応する5種類のスピーカーキャビネットが選択されています。

Savage 120プラグインは、Unisonに対応しているため、DIを使用してApolloインターフェイスで演奏しながらオリジナルアンプのインピーダンス値をシミュレートすることができます。これは、センシティビティ（SENSE）と組み合わせでギターからの様々な入力感度によってことなるトーンのニュアンスを体験することができます。



CEOからのメッセージ

10年間、私のスタジオでSavage 120を使用していました。この間、私はバンド、特にロック、メタル、パンクのレコーディングを多くプロデュースしました。いくつかは、有名なものもあります。

バンドはスタジオに入り、アンプをセットしてセットアップの音色を確認します。通常、私のスタジオのメインキャビネット（プラグインにも収録されているMesa Boogie 4x12）を使用してEngl Savage 120をデモをしました。そして10回中9回はスピーカーが吹き飛びましたがSavageを使うことに決めました。もうこれしかない。Savageの魅力の1つはミッドレンジです。ミッドは実際には極端なセッティングをせずにカットします。しかしこれによって、レコーディングに使用した他のロックアンプよりダイナミックなレスポンスが得られます。これがレコーディングにこのアンプを使用する理由の1つであると言えます。マイクを使用してリアルなチューブアンプのサウンドをレコーディング使用すると一部のアンプのサウンドがルームの響きでスウィートになることがありますが、マイク、プリアンプ、イコライザーで何をするかはあまり関係ありません。Engl Savage 120を使用すると、SM57やNeumann Gefellなどのマイクをキャビネットの前に置くことができ、適切なアンプを使用すれば、EQで好みのサウンドに調整するだけです。; “修正”は必要ありません。これは確かにハードロックミュージシャンのためのレコーディングアンプです。

Dirk Ulrich

Founder/CEO, Brainworx



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



特長

- EnglのエグゼクティブプロダクトであるオリジナルのEngl Savage 120チューブギターアンプの忠実なエミュレーション
- クリーン、クランチ1、クランチ2、リードの4チャンネルを2つのマスターチャンネルにアサイン可能
- 各チャンネルに3バンドEQ
- 各4チャンネルのゲインポットとは別にボリュームコントロール装備
- クランチとリードチャンネル用のラフ/スムーズ・モード
- 2ボイスセクションと2マスターボリューム
- EQ、センシティビティスイッチ、ブライツスイッチ、リードスイッチ、コンターススイッチ、ラフ/スムーズスイッチ、ハイバランスコントロール
- 100種類のBrainworxによるアドバンス・レコーディングチェインは、NEVE VXS72コンソール、アウトボード、ワールドクラスのマイクを使用してBrainworxのスタジオでレコーディングされました。
- FXラックには、ホストにシンク可能なLo-Fiディレイ、ノイズゲート、タイト&スムーズフィルター、パワーソーク、プリ&パワーアンプ・バイパスを装備しています。
- Apolloインターフェイスで使用可能なUnison™ テクノロジー対応。

このプラグインの主な使用方法:

- 良いサウンドのルームや高価なギターマイクを必要とせずにあらゆるボリュームで素晴らしいサウンドのエレキギタートラックを実現します。
- エレキギターを直接DAWにレコーディングし、DAW環境を離れることなくミックス、エディット、プロセッシングが可能です。
- 他のギターアンプなどでレコーディングされたギタートラックのリアンプが可能です。
- 偉大なロックギタープレーヤーによるエレキギタートーンを忠実に再現します。
- 大きなボリュームを必要とせずに激しいディストーションを得ることが可能です。
- Apolloの低レイテンシーモニタリングを使用して演奏した場合、本物のアンプのようなフィーリング、レスポンスが得られるのでDAW上で思い切りロックンロールすることが可能です。
- 本物のパワーアンプ、スピーカーと組み合わせてライブパフォーマンスが可能です。
- ライブで使用し、ライブコンソールやイヤモニターシステムにダイレクト接続が可能です。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



Unison テクノロジー



Engl Savage 120プラグインは、Apolloシリーズのインターフェイスで使用されることを念頭に置いて開発され、Unisonプリアンプテクノロジーに対応しています。もちろん、どのUAD-2デバイスでも使用可能ですが、もっとも重要なインピーダンス、リアルなアンプのスイートスポット、回路の挙動などを超低レイテンシーで使用するには、Apolloインターフェイスが必要になります。また、すべての機能の恩恵を得るには、

Engl Savage 120をApolloのconsoleアプリケーションのプリアンプインサートで使用する必要があります。これによりサウンドの音色や挙動など、オリジナルのハードウェアと同様の動作を手に入れることができます。

アンプ

1 チャンネルセレクション

メインチャンネル・セレクターボタン: メインチャンネル1/2を選択し、その他のチャンネルセレクターのプッシュボタンの設定に応じてクリーン、クランチ1、クランチ2、リードチャンネルに切り替えます。

- OFFポジション: メインチャンネル1 (クリーン、クランチ1)
- ON ポジション(押し込んだ位置): メインチャンネル2 (クランチ2、リード)

2 プレゼンスA

パワーアンプのトレブルコントロールA

3 プレゼンスB

パワーアンプのトレブルコントロールB

4 マスター A

パワーアンプアウトのマスターボリュームA

5 マスターB

パワーアンプアウトのマスターボリュームB



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 デプスブーストA

パワーアンプのボトムエンド(80Hz)を+ 6 dBブーストします。このプッシュボタンは、プレゼンスAコントロールにアサインされています。

2 デプスブーストB

パワーアンプのボトムエンド(80Hz)を+ 6 dBブーストします。このプッシュボタンは、プレゼンスAコントロールにアサインされています。

3 プレゼンスモード

プレゼンスAとプレゼンスBを切り替えます。アクティブなプレゼンスは、LEDが点灯することで識別でき、それはそれぞれのコントロールの隣にあります。:

- プレゼンスAとデプスブースト: 赤色LED
- プレゼンスBとデプスブースト: 緑色LED

4 マスターモード

マスターAとマスターBを切り替えます。アクティブなマスターコントロールは、それぞれのコントロール横にあるLEDで識別可能です。:

- マスターA: 赤色LED
- マスターB: 緑色LED

メインチャンネル1

5 インプットセンシティビティ

メインチャンネル1のインプットセンシティビティ(クリーン、クランチ1)

6 ブライト

トレブルより上の高域をブーストするEQを行います。高いゲイン値では効果が薄れます。

7 ゲイン

クリーン、またはクランチ1(ライトクランチ)チャンネルのインプットセンシティビティ・コントロールです。

8 プリシェイプ

2種類のフィルター特性をプリセットすることができます。:

- オフポジション: ボトムエンドを下げ、中域をブーストします。
- オンポジション(押し込んだ位置): 低域と高域をブーストし、ミッドレンジの300~1200Hzをカットします。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 クランチ1ゲイン

クランチ1モードのセンシティビティコントロール機能を追加;メインチャンネル1のゲイン設定に関連したクランチ1(ライトクランチ)のシグナルレベルを増減させることができます。)

2 ベース

メインチャンネル1のボトムエンドのボイシングコントロール

3 ミドル

メインチャンネル1のミッドレンジのボイシングコントロール

4 トレブル

メインチャンネル1のアップパーレンジのボイシングコントロール

5 コンター

メインチャンネル1のボイスセクションのEQを調整;ボイシングコントロールは、コンター機能がオンの時は異なるレスポンスを特徴とします。

2つのミッドレンジに影響を与えます。:

- **オフポジション:** 中低域(約500Hz)をブーストします。
- **オンポジション(押し込んだ状態):** 高中域(1200Hzから上)をブーストし、低中域をカットします。

6 クリーンボリューム

クリーンチャンネルのボリュームコントロール

7 クランチボリューム

クランチ1チャンネルのボリュームコントロール

8 モード

クリーン、クランチ1モード用のチャンネルセクター・プッシュボタン:

- **オフポジション:** チャンネルプッシュボタンがオフの位置にある場合、クリーンチャンネルになります。
- **オンポジション(押し込んだ位置):** クランチ1チャンネルは、チャンネルプッシュボタンがオフの位置ではオンになります。チャンネルがオンになると各チャンネルのボリュームコントロール横にあるLEDが点灯します。:
- **クリーンチャンネル:** 緑色 LED
- **クランチ1チャンネル:** 黄色 LED



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



メインチャンネル2

1 ゲイン

クランチ2(ヘビークランチ)とリードチャンネルのインプットセンシティビティ・コントロール。ヘビークランチチャンネルのオーバードライブ量を設定します。

2 リードブースト

リードチャンネルのディストーションをブーストし、ボトムエンドを強調します。

3 リードゲイン

リードモードのディストーション量をコントロールします。ゲインとリードコントロールは、ヘビークランチとリードの関係を定義するために使用することができます。

4 コンター

メインチャンネル2のボイスセクションのEQを調整;ボイシングコントロールは、コンター機能がオンの時は異なるレスポンスを特徴とします。2つのミッドレンジに影響を与えます。:

- **オフポジション**: 中低域(約500Hz)をブーストします。
- **オンポジション(押し込んだ状態)**: 高中域(1200Hzから上)をブーストし、低中域をカットします。

5 ベース

メインチャンネル2のボトムエンドのボイシングコントロール

6 ミドル

メインチャンネル2のミッドレンジのボイシングコントロール

7 トレブル

メインチャンネル2のアッパレンジのボイシングコントロール

8 ハイバランス

トレブルバランス・コントロールで、スムーズモードでのみ操作可能。このコントロールは、トレブルで設定した高域の量に対してハイエンドをブース、またはカットすることができます。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 オーバードライブタイプ

2種類のオーバードライブキャラクターを切り替えることができます。:

- **ROUGH:** ハイエンドとローエンドを強調しています。
- **SMOOTH:** ミッドレンジを強調し、ザラついた高周波数を抑えます。スイッチの上の赤いLEDはスムーズモードがオンになっていることを示します。この機能は、クランチ1とクランチ2の両方のチャンネルに影響を与えます。

2 クランチボリューム

クランチ2チャンネルのボリュームコントロール

3 リードボリューム

リードチャンネルのボリュームコントロール

4 モード

クランチ2とリード・モード用のチャンネル・プッシュボタン:

- **OFFポジション:** チャンネル・プッシュボタンがオンの位置(メインチャンネル2)にある場合、クランチ 2チャンネルがアクティブです。
- **ONポジション(押し込んだ状態):** リードチャンネルは、チャンネル・プッシュボタンがオンの位置(メインチャンネル2)にある場合、アクティブです。

FXラック

ノイズゲート

5 クローズド

このLEDが点灯しているときは、ノイズゲートが閉じていることを示します。これはスレッショルドの設定が入力信号よりも高く、ノイズゲートがアンプの出力信号をレンジコントロールで調整した分だけアッテネーションすることを意味します(上の図では15dB)。

6 ノイズゲート・オン/オフ

オン/オフ・スイッチ。ノイズゲートを完全にオン/オフさせます。スイッチが上に向いているときはオンとなり、ノイズゲートが作動していることを意味します。

7 スレッショルド

-120db~0dbまでの連続可変ノブ。ノイズゲートは、入力信号が一定のレベルを下回ると、すぐにアンプの出力を減衰させます。このレベルは、スレッショルドと呼ばれます。オーバードライブしたアンプのノイズが減衰するようにスレッショルドを調整しますが、フェードアウトしていくコードのサウンドをカットしないように調整してください。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 レンジ

0dB～100dBまでの連続可変ノブ。入力信号がスレッシュホールドよりも低いと、アンプの出力レベルが減少、またはミュートされます。レンジを最大に設定すると出力レベルを数デシベル(dB)だけ減衰させるか、出力を完全にミュートすることが可能です。

アンプフィルター

2 タイトフィルター

3段階切り替え式：“PRE”、“POST”、“OFF”。タイトフィルターを使用すると、DIギターシグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの低域をカットすることができます。

- **PRE:** ギターのピックアップからのサウンドで低域がもたつく場合、アンプに入力する前にローエンドをフィルタリングすることができます。
- **POST:** アンプセッティングで発生したローエンドをカットしたい場合、このスタジオクオリティのハイパスフィルターを使用することができます。
- **OFF:** タイトフィルターをバイパスします。

3 タイトフリーケンシー

タイトフィルターを使用すると、DIギターシグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの低域をカットすることができます。

4 Smooth Filter

3段階切り替え式：“PRE”、“POST”、“OFF”。スムーズフィルターを使用すると、DIギターシグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

- **PRE:** ギターのピックアップからのヒスやノイズが多く感じる場合、アンプに入力する前にハイエンドをフィルタリングすることができます。
- **POST:** アンプセッティングで発生したハイエンドの一部をカットしたい場合、このスタジオクオリティのローパスフィルターを使用することができます。
- **OFF:** スmoothフィルターをバイパスします。

5 スムースフリーケンシー

スムーズフィルターを使用すると、DIギターシグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



ディレイ

ビンテージのストンプボックスディレイをモデリングし、限られた周波数帯域、リピートの高域減衰等、その代表的なサウンドを再現しました。その後、ミックスコントロールや DAW コントロールの BPM ベースのテンポシンク等の現代的な機能も追加しました。また、コーラス、フランジャー、リバーブや、他のディレイのような外部のエフェクトも使うことができますが、すぐにアクセスできるディレイによって素晴らしいサウンドが得られるプリセットがあることを試して頂きたいと願っています。ディレイのタッチを聞かずにリード/ソロのサウンドをテストすることは多くのプレーヤーにとって現実的はないと考え、このエフェクトを加えました。我々は、このビンテージディレイのサウンドが本当に気に入っています。

1 ディレイ・オン/オフ

ディレイとそのすべてのパラメーターのオン/オフを切り替えるために使用してください。

- スイッチが上向き: ディレイがオン
- スイッチが下向き: ディレイはバイパス(オフ)

2 タップ*

マウスで TAP ボタンをリズムカルにクリックすることで、ディレイタイムを調整することができます。DAW や BPM ベースのテンポに合わせてプレーしなくても、ディレイのテンポをギターのリフに合わせることができます。

3 タイム

TIME ノブを使用してミリ秒単位でディレイタイムを調整することができます。15ms～1000msの間でディレイタイムを調整可能です。

4 x2*

現在のディレイタイムを倍にします。

5 /2*

現在のディレイタイムを半分にします。

x2 & /2 ボタン

1000 msの最大ディレイタイムを越えない限り、両方のボタンを繰り返し使用することができます。

* 注: このコントロールはオートメーションに対応していません。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 ホスト BPM

GUI上でBPMナンバーをクリックするとプルダウンメニューが開きます。その中から二分音符、四分音符、八分音符のような音価で選択可能です。すべての値はBPMウィンドウに表示されているテンポに基づいて計算されています。テンポは、オーディオセッションのテンポと自動的にシンクします。

2 ミックス

ドライ(未処理)の信号とウェット(処理後)の信号の量をコントロールします。ドライのアンプサウンドとディレイタイムを調整する MIX コントロールを使用してください。控え目なディレイの場合、約10%程度、濃いディレイを必要とする場合は、50%以上の設定が必要な場合があります。

3 フィードバック

繰り返しの数をコントロールします。99%の設定は、ほぼ無限のディレイループとなります。ロックのリードサウンドでの一般的な設定では25%前後であると言えます。

4 Lo-Fi

LO-FI ノブを右に回すとディレイのフィードバックシグナルの音質を下げる効果をもたらします。これはフィードバックシグナルをローパスフィルタリングと歪みを与え、純粋な技術的立場からみると音質は悪くなります。しかし、多くの場合、ギター的なサウンドやスタイルと与えることができます。

レコーディングチェーン

Brainworx アドバンスIR テクノロジー

シンプルに“REC CHAIN”プルダウンメニューをブラウジングしてスピーカーと完璧なスタジオをセットアップを選択してください。

Brainworx のオーナーDirk Ulrich は、過去20年の間にDREAM THEATER、TOTO、MICHAEL JACKSON 等をはじめとする多くのアーティストとプロデューサーやレコーディングを行ってきました。ドイツの Brainworx Studio (www.brainworx-studio.de) では、これまでに9台しか製作されなかったNEVE VXS 72 コンソールの1台と最高級のアウトボード EQ やマイクプリアンプを所有しています。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



この素晴らしいセットアップを使用して、Engl Savage 120アンプに使用するためにカスタマイズした膨大な“レコーディングチェーン”を作成し、それをプラグインアンプの設定に使用することができます。100種類もの完璧なマイキングや EQ されたギターキャビネット等を1回のマウスクリックで簡単に使用することができます。

使用した各キャビネットには、最大で12本のマイクを使用しました。これらのマイクは、ビンテージのNeve VXSコンソールの各チャンネルに接続されています。この設定では、使用された様々なマイクのミックスとNeveフィルターやEQに適用する値を細かくコントロールできました。ファイナルミックスはレコーディングするためにPro Toolsに接続されました。

様々なプリアンプやEQチェーンをキャプチャーするために新しいアプローチが使用されました。3種類のハードウェアプリアンプとEQに分割されたパラレルチェーンが使用されました。これらのパラレルチェーンは、Neve VXSコンソール上の独自のチャンネルにルーティングされ、Pro Toolsに接続されています。このルーティングにより、各チェーンを個別にレコーディングしたり、それらを組み合わせて興味深いチェーンを作成することができます。:

1. チェイン: Telefunken V76プリアンプに Massenburg GML 8200 EQを接続
2. チェイン: AMEK 9098チャンネルストリップ
3. チェイン: SSL 4000 E Series+ブラック EQ

多くのアンプシミュレーターでは、キャビネットとマイクを選択してインパルスを得ることは可能です。それにEQやマイクの設定をいくつかしたり、位相などを調整することで不完全だった設定をさらに追い込むことができます。これは簡単な作業ではなく、何年もの経験が必要になります。

これをレコーディングチェーンを選択するだけでアンプチャンネルの設定に最適なサウンドが得られるようになります。トーンスタックとゲインを調整すれば良いだけになります。リコールでき、信頼性、柔軟性も高く、素早く作業可能です。

何らかの理由でプラグインが提供するレコーディングチェーンを使用しない場合、最後の設定(キャビネットバイパス)を使用してご自分のマイク、キャビネットや外部IRソフトウェアを使用することができます。この設定では、コンソールアンプに直接接続されたチューブアンプのサウンドも得られます。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 RCインフォ

RCインフォ機能は、選択したレコーディングチェーンを作成するためにどのような設定が使用されたかを表示します。

2+ /- スイッチ（プラス/マイナス）

REC CHAINS テキストボックスのプルダウンメニューを使用するか、“+/-”記号をクリックしてREC CHAIN をブラウジングすることができます。

3Auto & Barセレクション

使用する曲に最適なサウンドのREC CHAINを探す場合、マウスでREC CHAINを選び、いくつかのフレーズ弾いた後にまた次の REC CHAINを探すためにマウスを使うという煩わしい操作をしなくても済みます。

Savage 120にはオートモードが用意されています。パターン（1、2または4小節）を選択するとプラグインは DAW のテンポにシンクし、REC CHAIN のオートメーションを使用できるようになります。このようにして演奏を中断することなく、いくつかの REC CHAIN の音を1, 2, 4小節ごとに自動的に切替え、試すことができます。

スピーカーセットアップで聴きながらちょうど良いREC CHAIN が見つかったら、もう一度 AUTO ボタンを押し、オートモードを停止し、必要な REC CHAIN を選択してトーンやゲインを調整して音作りを進めてください。

4 インプットゲイン

Englプリアンプをハードに、またはソフトにドライブさせたい場合に、お好みに合わせてインプットゲインを調整することができます。ビンテージギターのシングルコイルピックアップの中には、インプットゲインの補正が必要な低レベルのアウトプットの物があります。

ヘビーメタルスタイルのハムバッカーの場合は反対です。DI シグナルがホットな場合や、Englアンププラグインにインプットする前に他のプラグインを使用している場合は、インプットシグナルを下げたくなるかもしれません。

標準的なギターを使用する場合、インプットゲインを“0”から始めることを推奨します。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



1 パワーソーク

出力ボリュームをコントロールします。

本物のパワーソークは、ギターパワーアンプのボリュームを減らすために使用します。耳を保護し、近隣に迷惑をかけない音量で、アンプがクリッピングを始めるまでチューブアンプをドライブさせて、レコーディングを行うことができます。クリッピングしたチューブパワーアンプは、ギターアンプのシグナルに歪みや倍音を加え、ほとんどのギタリストが好むサウンドを出力します。パワーソークによってボリュームを抑えられたサウンドは、マスターボリュームで同じ音量に調整した場合と、サウンドが異なります。我々は、Englのチューブパワーアンプの動作をモデリングしたので、アンプとパワーソークのマスターボリュームのセッティングを数通り試すことができます。最初に-10 dBの設定で試されることをお勧めします。

2 プリアンプのバイパス

プリアンプセクションをバイパスします。

他の(チューブ、またはソリッドステートの)ハードウェアプリアンプを使用してレコーディングを行う場合、BYPASS PRE スイッチを使用して Savage 120のプリアンプを完全にオフにすることができます。

この場合でも内蔵のパワーアンプとスピーカー / RECチェインシミュレーションを使用でき、外部のパワーアンプやスピーカーを使わずにギターを素晴らしいサウンドでレコーディングすることが可能です。

スイッチが上向き: プリアンプはバイパス(オフ)

スイッチが下向き: プリアンプはオン

3 パワーアンプのバイパス

Englプリアンプの歪みのみを使用する場合には、パワーアンプをオフにすることができます。Savage 120プラグインを使用してギター以外の信号を歪ませる時には、この方法が良いこともあります。現実的なギターのレコーディングを行いたい場合にはパワーアンプを使用したレコーディングを推奨します。(パワーアンプは、ギターサウンドとして不可欠な要素を持ちます)

Engl Savage 120

プラグインマニュアル



レコーディングチェーンに使用したキャビネット

American 4x12

Mesa Boogie Rectifier® 4fb 280W 4x12 Vintage 30

スタンダードなRectifier® 4x12は、オーバーサイズの4x12で唸るようなローエンドのパンチ、スムーズで完璧にチューニングされた響きのミッドレンジ、クリアなハイエンドが得られます。これはもっとも人気のある4x12キャビネットでヘビーな音楽の象徴ともいえます。

Engl XXL 4x12

Engl XXL PRO Straight E 412 XXL 240W – 4x12 Celestion Vintage 30

新世代のギタリストのための新次元のパワーは、超ファットなボトム、多くのベッドルーム、タイトなミッドレンジ、輝くようなトレブル。そして斜めに取り付けられたバッフルボード

Engl PRO 4x12

Engl E412VGB PRO Cabinet Straight – 4x12 Celestion Vintage 30

ウォームなハーモニクスを持つミッドレンジ、タイトなベースとシルクのようなトレブル。リードサウンドに最適です。

Engl Vintage 4x12

キャビネット: Engl E412 Vintage 240W 4x12 Vintage 30

EnglストレートE412VS 4x12 Guitar Speaker Cabinet 240Wは、激しいベースとシルクのようなトレブルを伴ってウォームなミッドレンジを提供します。

Engl Savage 120

プラグインマニュアル



EnglISH 4x12

キャビネット: Marshall® 1960TV Lead 100W 4x12 Greenback G12M-25

1960TVには、Celestion® G12M-25 Greenback speakerが搭載されています。これは、1960A™で使用されている75 Watt Celestionよりも許容量があります。25WのGreenbackは、ウオームでよりサチュレーションに適したサウンドが得られます。この100Wのモノラルキャビネットは、1960Aや1960B™よりも65mm背が高く、中域のレゾナンスレスポンスが低くなります。クラシックな外観とトーンを再現するために1960TVキャビネットを採用しています。1960TVのハウジングには、4基の25W Marshall/Celestionを配置するよう設計されており、60年代後半スタイルのECフレットクロスとスムーズなレバントカバーで仕上げられています。Marshall 1960TVは、標準的な4 x 12"よりも4インチ高くなっており、そのためのTall、Vintageの頭文字をとってTVと名付けられています。

ORANGE 4x12

Orange® PPC 212 closed-back 120W - 2x12 Celestion Vintage 30 speakers

120WのOrange Amplifier PPC212-C guitar speakerキャビネットは、すべてのパワープロジェクションキャビネット(PPC)のように13プライの高密度18mmバーチ材合板を使用して作られています。Orangeスピーカーエンクロージャーは、Orange amplifierのように非常に頑丈な構造を保証する製造技術で作られています。Orange独特のスキッドなデザインは、タイトなベースレスポンスやフルレンジの密度を提供します。すべてのOrange AmplifierのスピーカーエンクロージャーにはCelestion Vintage 30 speakerが使用されており、快適なフラッシュキャビネットハンドルが装備されています。Celestion Vintage 30 SpeakerはオリジナルのCelestion Blueのサウンドを新しいコーンとコイルのアッセンブリーで再現しています。また、性能も向上し、定格60Wで高出力機で発生する熱も効率的に処理、Vintage 30は大量のオーバードライブトーンを簡単に処理することができるクラシックな2x12ラウドスピーカーです。



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



トップツールバー

1 アンドウ/リドゥ

Savage 120で行ったコントロールの変更を、最大32ステップでいつでもアンドウ/リドゥすることができます。セッティングを元に戻したくなった場合はいつでもアンドウを使用することが可能です。

2 セッティング (A/B/C/D)

Savage 120プラグインは、4個の内部セッティング (A/B/C/D) があり各プリセットに保存することができます。1つのプリセットにつき、最高で4個のアンプとエフェクトセッティングのバリエーションを保存することができます。

同じアンプセッティングで、ディレイの濃さ、異なるディレイタイムの設定をしたり、プリセット内でリード/クランチ/クリーンを切替えたりすることができます。

これらの設定は、ほとんどすべてのDAWでオートメーション化することができます。この方法によって、ドライなりズムサウンドからディレイがかかったリードサウンドに瞬時に切り替えることができます。

3 コピー/ペースト

同じサウンドのバリエーションを作る場合、何度も一から音作りをする必要はありません。セッティングAのバリエーションをディレイ無しにしてBに作ると仮定します。

- セッティング A を選択し、“COPY”をクリックしてください。
- “SETTING”セクションで B に切替えてください。
- “PASTE”をクリックすると A のセッティングを再現します。
- ディレイをバイパスして終了です。

たったこれだけの操作で AとB はディレイの有無以外はまったく同じサウンドになります。

4 FXラック

スタンダードとズームビューを切替えます。

5 アバウト

プラグインの開発に関する情報の表示



Engl Savage 120

プラグインマニュアル



ファクトリープリセット

Savage 120アンププラグインで多くのストラトやテレキャスター、レスポールのようなギターで完璧なサウンドが得られるようなプリセットをたくさん用意しました。ファクトリープリセットのすべてにA/B/C/D のバリエーションを用意しているのでぜひお試しください。

これは事実上ファクトリーサウンドを4倍にし、多くの同じようなアンプセッティングでのフィルターやディレイのセッティングバリエーションを楽しめるようになっています。

また、これらのプリセットは Savage 120 プラグインを使用してオリジナルサウンドを作成するためのスタートポイントとして使用することも意図しています。

オリジナルのサウンド&プリセットの作成

オリジナルサウンドを作り始める時に調整するもっとも重要なパラメーターはDRIVE、TONE STACK とREC CHAINSです。(Bass、Middle、Treble、Presence等)

- TONE STACKのコントロールを中心位置(12時)に設定してください。
- REC CHAINS を使用してプレーし、TONE STACK を変更することなくイメージの近いサウンドを選択してください。

- サウンドに最適なレコーディングチェインを見つけたら、TONE STACK や DRIVE の調整を行ってください。
- お好みに合わせてディレイやフィルター、ノイズゲートを加えて完了です。
- サウンドをお楽しみください！

アンプのセッティングや REC CHAIN によって異なるトーンを提供する膨大な選択肢は、様々な音楽ジャンルにとって素晴らしいサウンドを提供する組み合わせを提供できると確信しています。

Savage 120アンプと他のプラグイン(ダイナミクス、エフェクト、ルームシミュレーションなど)と組み合わせて数えきれないほどのワールドクラスのプロダクションに対応するギターサウンドを作成できます。ぜひお楽しみください。

brainworx 

Plug in, Rock out! - www.brainworx-music.de